



スマイル! TOGO

自分らしく生きる力を身につけ、

なかまとたくましく歩む子

福井市東郷小学校 学校だより
令和5年10月18日 第19号
TEL 41-0003 FAX 41-0974
Mail togo-e@fukui-city.ed.jp

10/18(水)2学期始業式 ～お手本から学び、やってみようとする2学期に～



「自分の考えをもち、語る力」「失敗を恐れず、挑戦する力」



2学期がスタートしました。何にでも取り組みやすい季節だからこそ、学びの秋、スポーツの秋、読書の秋などと言われるのでしょうか。自分にとって取り組みやすいものはもちろん、少し後回しにしているものは、この秋(2学期スタート)をきっかけに、思い切ってチャレンジするのもいいですね。

そんなチャレンジをするときに、お手本から学ぶのはとてもいいことです。「学ぶ」という言葉は「まねる」という言葉が語源であるという説があるそうです。お手本を見て、まねをしてみる。何度も繰り返して見て、考えて、ついには自分のものにしていく。そういうことなのでしょうね。

素晴らしい手本が、1学期終業式後の生活委員さんの行動にありました。倉元先生からの話で「あいさつ」の場面にさしかかった時、「ちょっと待った!」と生活委員さんから声が上がりました。



生活委員さんがみんなの前に出てきましたね。みんなも、先生たちも、びっくりしたと思います。

「先生方へのあいさつはとてもよくなったけれど、ぼくたち生活委員へのあいさつは、できている人が少ないです」「私たち、生活委員にも朝のあいさつをしっかりとしてください」「大人へのあいさつは良くなったので、これからは子どもどうしでのあいさつを、もっとしていきましょう」と、自分たちが感じたことを自分たちの言葉で語ってくれました。きっと、大人が100回言うよりも、生活委員さんからの真剣な言葉は、この1回でみんなの心にしっかりと届いたと思います。まさしく「自分の考えをもち、語る力」「失敗を恐れず、挑戦する力」を具体的にみんなの前で示してくれました。



このことを忘れないでほしいです。「子どもたちどうしであいさつをする」ことはもちろんです。聞いていたみんなの中から、「これからは生活委員さんにしっかりとあいさつしたい」という意見がたくさん出てきましたね。さあ、やりましょう。



そして、それ以上に忘れないでほしいのは、「生活委員さんが、自分たちの考え(みんなに言わなくてはと思ったこと)を、失敗を恐れず、みんなの前で語ったこと」です。聞いていたみんなの真剣な様子から、生活委員さんの訴えた思いが、どれほどみなさんの心に響いたかが伝わってきました。

「学ぶ」とは「まねる」ことから。いいと思ったことはどんどん吸収し、「次は、自分もできるかな」と、どんどんチャレンジする2学期にしていきたいです。

